串 植

厚 貴

司 昭 君 君

作 作 歌 Ш

木 田

昭 和 Ŧī. 十七年

小ぉ 川がゎ 早などり の資料 に映る延齢の花 駆け 我ね

北場

の夏歩む我

今咲きそろううす影

いりラ

明日の旅路を想いなん我が夢馳せし夕暮れに 今この時 はるか千嶂仰ぎ見ん の静庵ここにあ の憧憬に ń

清tin雅が 正^せい義ぎ 我等が誇る自治 熱き 涙 のほとばしり には の道を貫かん

IO 魂 たま

過ごせし日

々び への感激

ょ

にして無限なれ ゆる星を よりも

> 盃がずき 原げん 始し 吹雪の中に立て の森に先人の かわす寮友と Ū かげ 我れ

我等が道 我ゎ が :春遠き北都にも きずなとこしえ る ベ な n

の絆永遠に